

平成19年度安全・安心モニター 回答結果

食品の安全に関する考え方などについてアンケート調査を行った結果、調査時期が中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例後ということもあり、以下のとおり、その事案を反映した結果となりました。

〔調査目的〕 食品の安全に関する考え方の把握

〔調査対象者〕 マクロミルモニター^(注1) 4,102名(満20歳以上で国内居住者)

〔実施時期〕 平成20年3月24日～3月26日

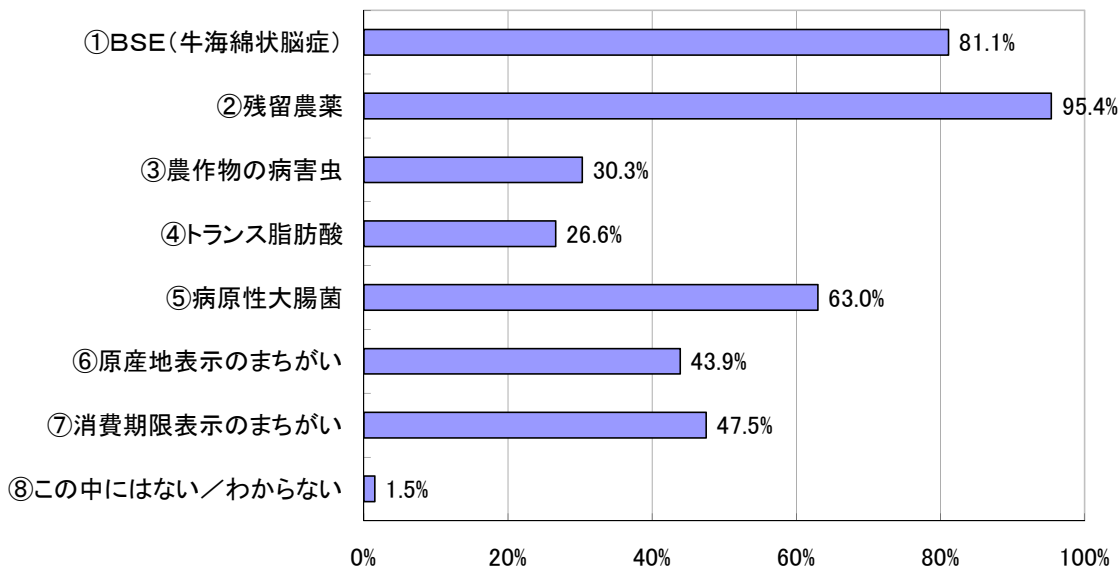
〔調査方法〕 インターネットによるアンケート調査

〔有効回答数〕 1,570名

〔結果〕

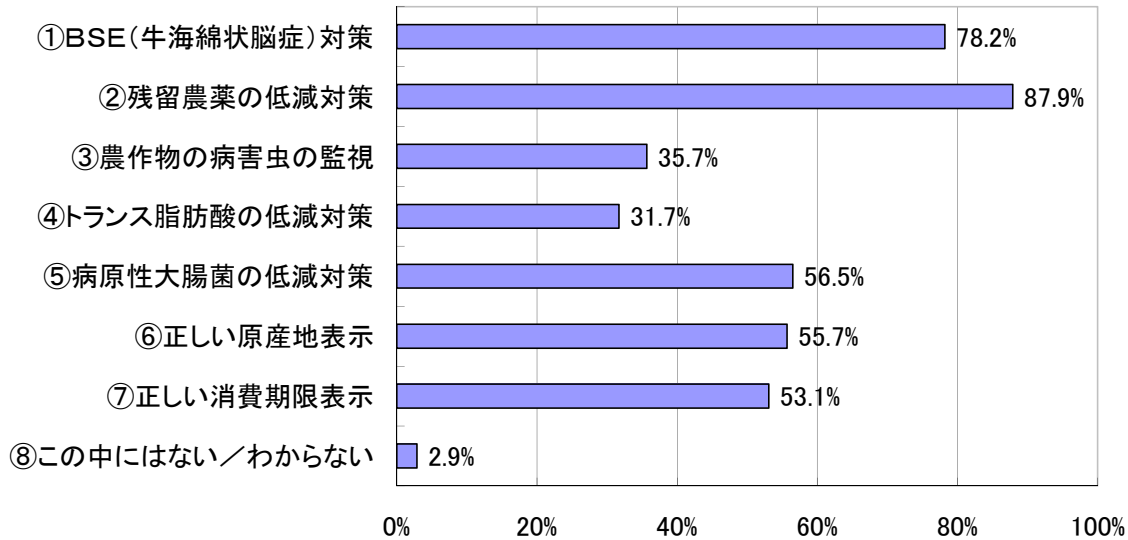
問1	食品の安全をおびやかす可能性があるのは、次のうちどれだと思いますか。		
①	BSE(牛海綿状脳症)	81.1%	(回答者数) 1,570
②	残留農薬	95.4%	
③	農作物の病害虫	30.3%	
④	トランス脂肪酸	26.6%	
⑤	病原性大腸菌	63.0%	
⑥	原産地表示のまちがい	43.9%	
⑦	消費期限表示のまちがい	47.5%	
⑧	この中にはない／わからない	1.5%	

問1 食品の安全をおびやかす可能性があるのは、次のうちどれだと思いますか(説明をご覧ください。)



問2	次にあげるもののうち、食品そのものの安全性が高まる措置はどれだと思いますか。(1で選んだものと重複しても構いません)		
①	BSE(牛海綿状脳症)対策(飼料規制、特定危険部位の除去、と畜牛の検査など)	78.2%	(回答者数) 1,570
②	残留農薬の低減対策	87.9%	
③	農作物の病害虫の監視	35.7%	
④	トランス脂肪酸の低減対策	31.7%	
⑤	病原性大腸菌の低減対策	56.5%	
⑥	正しい原産地表示	55.7%	
⑦	正しい消費期限表示	53.1%	
⑧	この中にはない／わからない	2.9%	

問2 食品そのものの安全性が高まる措置はどれだと思いますか。(説明をご覧ください。)



～問1及び問2の説明～

「①BSE」の原因となる異常プリオンたんぱく質は変異型クロイツフェルト-ヤコブ病を、「②農薬」も多量になると中毒などを、「④トランス脂肪酸」も多量になると心臓疾患などを、「⑤病原性大腸菌」も激しい食中毒などを、また、「⑦消費期限表示」のまちがいは食中毒などを、引き起こす可能性があります。

ただし、「①BSE」、「②残留農薬」、「④トランス脂肪酸」、「⑤病原性大腸菌」については、対策や監視を行うことによって、安全性を高めることができます。一方、「⑦消費期限表示」はいつまでだったら安全に食品を消費することができるかを示す「情報」であり、消費者による商品の選択に有用ですが、食品そのものの安全性(性質)を直接左右するものではありません。

「③農作物の病害虫」は、その農作物の食品としての安全性よりも農作物の安定供給や見ばえ等に大きな影響を及ぼしますが、食害があると、そこに着くカビなどの微生物により毒素が産生され、健康に影響を及ぼすことがあります。

「⑥原産地表示」は、産地がどこであるかという「情報」であって、原産地表示は安全を保証するものではありません。A国産であろうと、B外国産であろうと、それぞれの産地でしっかりとその食品への安全管理が行われていることが必要です。

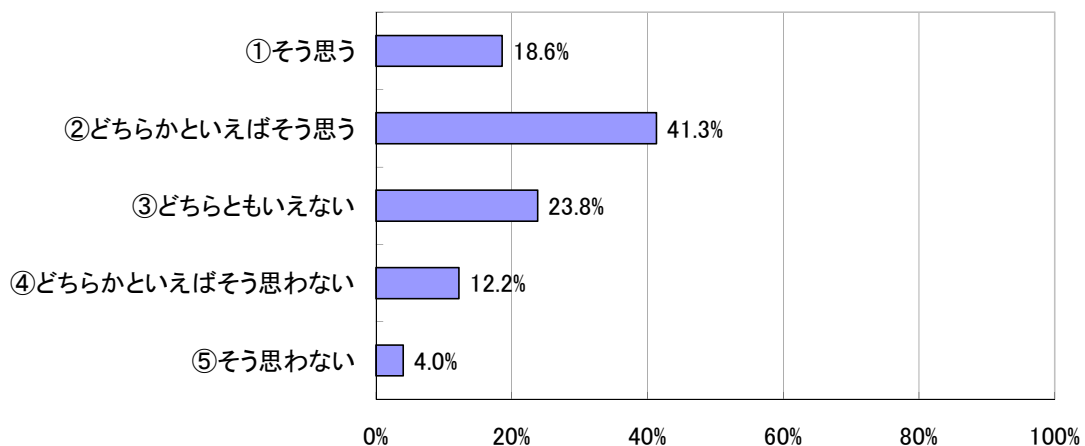
食品に関する情報に対しては、その情報の性質を見極めることが重要です。

問3	どんなに微量でも農薬が残留している食品を食べると健康に被害があると思いますか。一つ選んでください。		
①	そう思う	18.6%	(回答者数)
②	どちらかといえばそう思う	41.3%	
③	どちらともいえない	23.8%	
④	どちらかといえばそう思わない	12.2%	
⑤	そう思わない	4.0%	

～問3の説明～

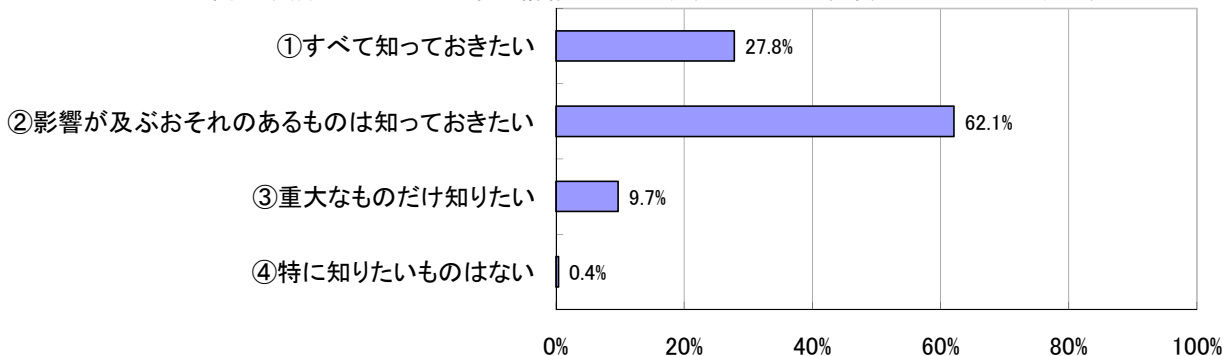
農薬は、現在使用することを認められている使用基準に従って適切に使用すれば、残留基準値を超えることはありません。残留基準値は、数々の試験をもとに健康へ悪影響を及ぼすことのないように通常定められたものです。

問3 どんなに微量でも農薬が残留している食品を食べると健康に被害があると思いますか。



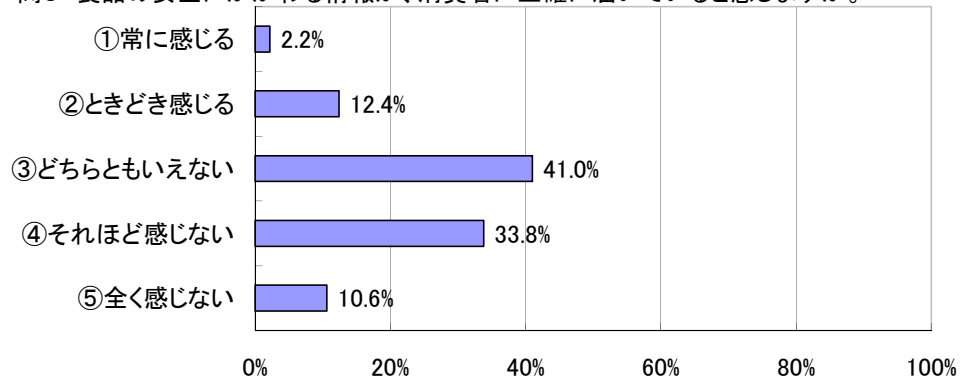
問4	食品の安全にかかわる情報について、あなたはどの程度まで知りたいですか。一つ選んでください。		
①	人の健康に影響が及ぶおそれのない軽微なものも含めてすべて知っておきたい	27.8%	(回答者数) 1,570
②	人の健康に影響が及ぶおそれのないものは必要ないが、人の健康に影響が及ぶおそれのあるものは知っておきたい	62.1%	
③	確実に人の健康に影響が及ぶ重大なものだけ知りたい	9.7%	
④	食品の安全にかかわる情報の中で特に知りたいものはない	0.4%	

問4 食品の安全にかかわる情報について、あなたはどの程度まで知りたいですか。



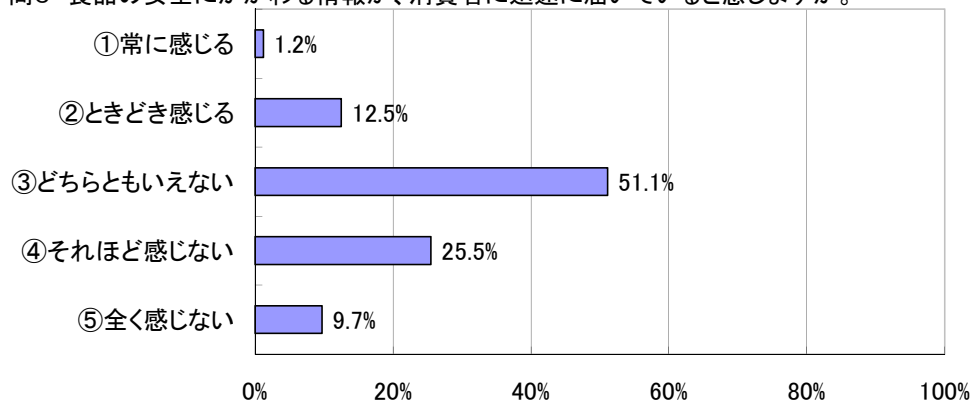
問5	食品の安全にかかわる情報が、消費者に正確に届いていると感じますか。一つ選んでください。		
①	常に感じる	2.2%	(回答者数) 1,570
②	ときどき感じる	12.4%	
③	どちらともいえない	41.0%	
④	それほど感じない	33.8%	
⑤	全く感じない	10.6%	

問5 食品の安全にかかわる情報が、消費者に正確に届いていると感じますか。



問6	食品の安全にかかわる情報が、消費者に迅速に届いていると感じますか。一つ選んでください。		
①	常に感じる	1.2%	(回答者数) 1,570
②	ときどき感じる	12.5%	
③	どちらともいえない	51.1%	
④	それほど感じない	25.5%	
⑤	全く感じない	9.7%	

問6 食品の安全にかかわる情報が、消費者に迅速に届いていると感じますか。



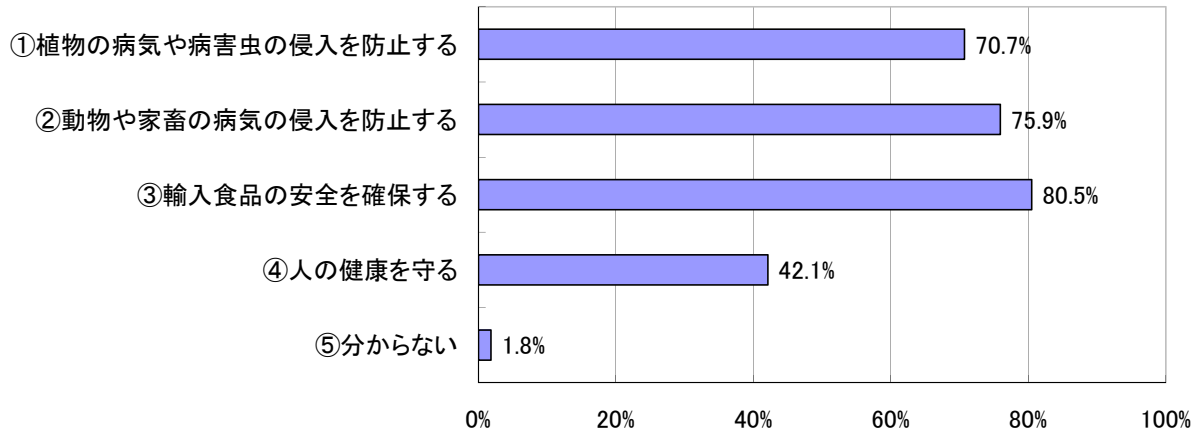
問7	厚生労働省の検疫所が果たす主な役割は何だと思えますか。あてはまると思うものをすべて選んでください。		
①	植物の病気や病害虫の侵入を防止する	70.7%	(回答者数) 1,570
②	動物や家畜の病気の侵入を防止する	75.9%	
③	輸入食品の安全を確保する	80.5%	
④	人の健康を守る	42.1%	
⑤	分からない	1.8%	

～問7の説明～

厚生労働省の検疫所は、検疫法に基づき、日本に常在しない感染症（検疫感染症：エボラ出血熱、ペスト、コレラ、黄熱等）の病原体が海外から国内に侵入することを防止するため、海外からの来航者について検査等を行っています。

また、輸入食品の安全性を確保するため、食品衛生法に基づき、販売や営業を目的として輸入される各種の食品、食器などの器具等の輸入の届出の審査等や、輸入食品等に含まれる残留農薬、添加物、抗生物質、重金属や病原微生物、カビ毒、放射能などについての監視業務も行っていきます。

問7 厚生労働省の検疫所が果たす主な役割は何だと思えますか。

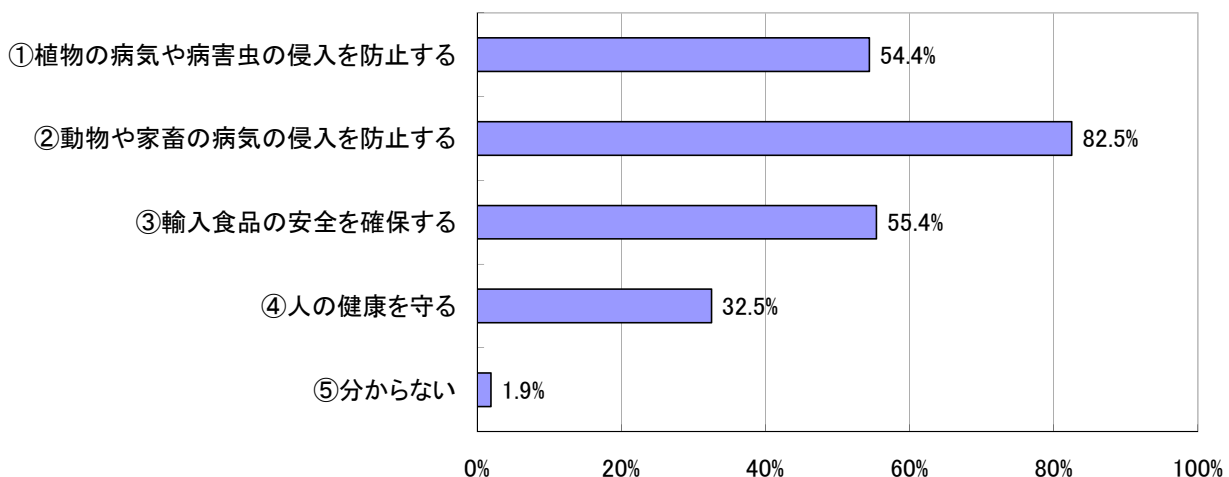


問8	農林水産省の動物検疫所が果たす主な役割は何だと思えますか。あてはまると思うものをすべて選んでください。		
①	植物の病気や病害虫の侵入を防止する	54.4%	(回答者数) 1,570
②	動物や家畜の病気の侵入を防止する	82.5%	
③	輸入食品の安全を確保する	55.4%	
④	人の健康を守る	32.5%	
⑤	分からない	1.9%	

～問8の説明～

農林水産省の動物検疫所は、家畜伝染病予防法等に基づき、動物や家畜の病気の侵入を防止するため、牛、豚、やぎ、ひつじ、馬、鶏、だちょう、七面鳥、うずら、あひる・がちょうなどの鳥類、うさぎ、みつばち、犬、猫、サルなどの動物や家畜と、それら家畜から作られる肉製品などの畜産物を対象に輸出入検査を行っています。

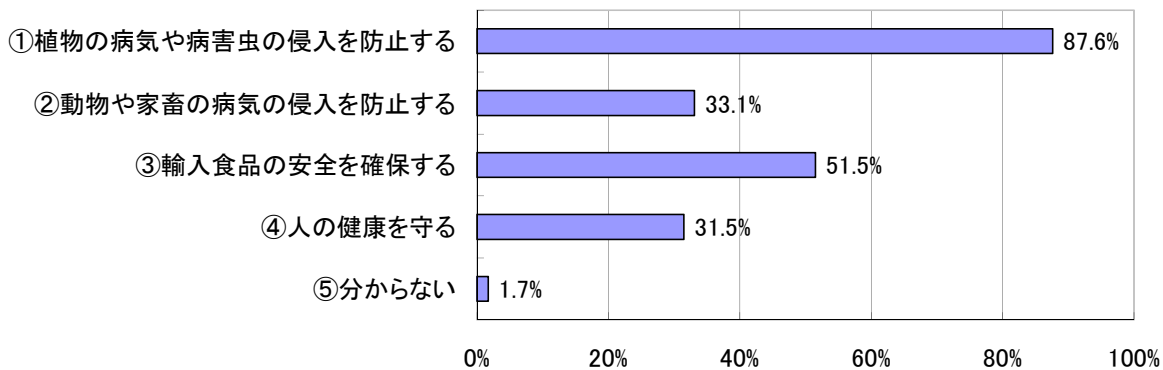
問8 農林水産省の動物検疫所が果たす主な役割は何だと思えますか。



問9	農林水産省の植物防疫所が果たす主な役割は何だと思いますか。あてはまると思うものをすべて選んでください。		
①	植物の病気や病害虫の侵入を防止する	87.6%	(回答者数) 1,570
②	動物や家畜の病気の侵入を防止する	33.1%	
③	輸入食品の安全を確保する	51.5%	
④	人の健康を守る	31.5%	
⑤	分からない	1.7%	

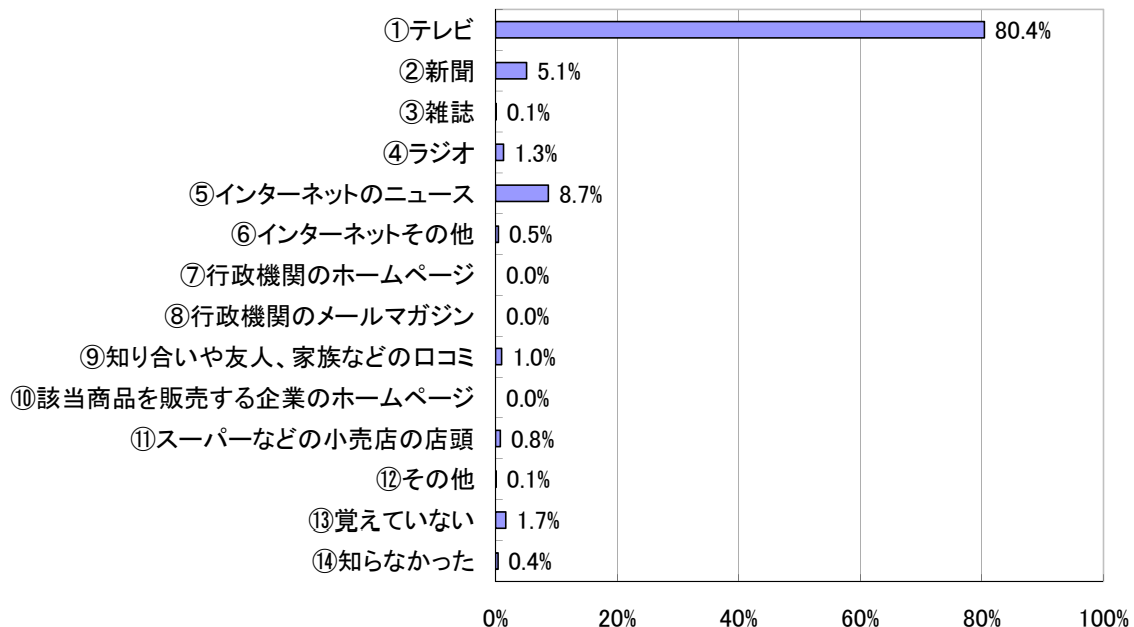
～問9の説明～
 農林水産省の植物防疫所は、植物防疫法に基づき、植物の病気や病害虫の侵入を防止するため、輸出入される植物（栽培用植物、食用の野菜や果物、観賞用の切り花、木材、その他乾燥した植物など）を対象に輸出入検査を行っています。
 また、国内の一部において特定の植物と病害虫に対しても移動を制限・禁止や、日本への侵入を特に警戒している植物の病害虫を対象とした侵入警戒調査などの国内植物検疫も行っていきます。

問9 農林水産省の植物防疫所が果たす主な役割は何だと思いますか。



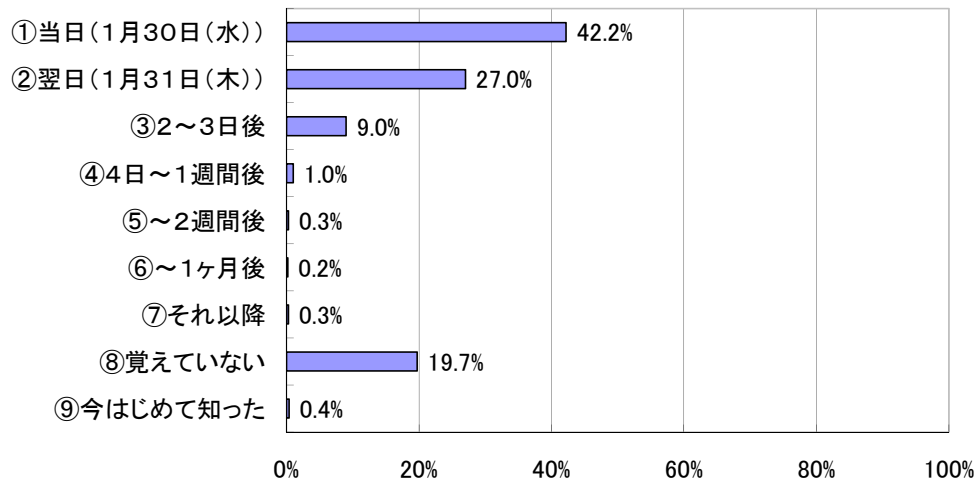
問10	中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例を受けて、平成20年1月30日(水)夕方、該当商品を販売する企業から商品の自主回収情報が発信されました。この自主回収情報を最初にどこで知りましたか。一つ選んでください。		
①	テレビ	80.4%	(回答者数) 1,570
②	新聞	5.1%	
③	雑誌	0.1%	
④	ラジオ	1.3%	
⑤	インターネットのニュース	8.7%	
⑥	インターネットその他	0.5%	
⑦	行政機関のホームページ	0.0%	
⑧	行政機関のメールマガジン	0.0%	
⑨	知り合いや友人、家族などの口コミ	1.0%	
⑩	該当商品を販売する企業のホームページ	0.0%	
⑪	スーパーなどの小売店の店頭	0.8%	
⑫	その他	0.1%	
⑬	覚えていない	1.7%	
⑭	知らなかった	0.4%	

問10 中国産冷凍ギョウザを販売する企業から商品の自主回収情報を最初にどこで知りましたか。



問11	その自主回収情報はいつ頃知りましたか。だいたい結構ですのでお答えください。		
①	当日(1月30日(水))	42.2%	(回答者数) 1,570
②	翌日(1月31日(木))	27.0%	
③	2~3日後	9.0%	
④	4日~1週間後	1.0%	
⑤	~2週間後	0.3%	
⑥	~1ヶ月後	0.2%	
⑦	それ以降	0.3%	
⑧	覚えていない	19.7%	
⑨	今はじめて知った	0.4%	

問11 自主回収情報はいつ頃知りましたか。



問12	食品の安全に関して、いま一番不安に思っていることは何ですか。		
①	輸入食品の安全性に関すること	35.5%	(回答者数) 1,570
②	表示偽装に関すること	15.4%	
③	残留農薬に関すること	7.3%	
④	その他(製造に関すること、自給率に関すること、食品全般に関すること、ほか)	41.8%	

(注1)「マクロミルモニター」とは、株式会社マクロミルが行う調査に協力していただく独自のモニター会員のことで。

(注2)小数点以下第2位で四捨五入しています。

四捨五入の関係で単一回答でも合計が100%にならないこと、有効回答があっても0%になることがあります。